

放射線から子どもを守ろう！  
つながりから請願へ

「請願なんて初めて」という小さい子どもを連れられたお母さんが、自分達で書き上げた請願書を手にも、地域の病院や自治会、ピアノ教室などを一軒一軒回り、署名集めを行いました。夏休み、帰省期間でもありましたが、たくさんのお母さんや市民が動き、約一カ月で9157筆を集め、9月議会に提出した請願は継続審議中です。

「放射能汚染から子どもを守ろう@つくば」は、つくば・市民ネットワーク事務局に問い合わせをくださったお母さん達が集まり、放射能についての不安を分かちあいたい、話したい、情報共有したい、という思いをきっかけに立ち上げた、市民の会です。

会には、子育て中のお母さんや、日中働いている人、県外の人、など様々な立場の人達が参加。普段はメールリング

リストで頻繁に情報共有し、ミーティングを月に数回行っています。「メールでの情報共有は便利だが、やはりみんなの意見を整理してまとめる作業は会って話さないと」と、顔を合わせて話すミーティングは欠かせません。

ブログの開設で、インターネットによる輪も広がり、署名活動でも賛同する地域の人との新たなつながりができました。そのつながりが、各地域の学校や保育所・幼稚園での放射能対策活動に実を結びつつあります。



8月25日「放射能汚染から子どもを守ろう@つくば」は市議会議員長へ請願署名を提出

原発の是非は国民投票で！

「原発はできれば無くしたい」との声が高まる一方で、「原発なしでエネルギーは足りるのか」との声もあり、政府の方針が揺れている。「日本の将来を左右する重要な問題だから、政治家だけに任せず国民投票で決めよう」と、全国レベルの市民グループ「みんな決めよう「原発」国民投票」が立ち上がった。

市民ネットでは事務局長の今井一氏を招き、学習会を開催した。「選挙は自分たちに代わって大事なことを決める“人”を選ぶが、国民投票は自分たちで“事柄”について決める。」「過去401件の住民投票では、住民投票することになって初めて徹底的な情報公開と議論が行われることが実証されている。」と力強く語られた。

有権者の1%である111万人の署名を集め、国民投票法の成立を国会に求めよう！（署名用紙はHPに）

放射能から子どもを守るのか、という言いようのない不安。「行政に『お願い』や『苦情』ばかりでない、自分達でできることをやはり、協働していこう。」「私達が活動し声を上げていくことが、福島で声をあげにくい人達の支援にもなるはず。」と市や国にも働きかけています。

つくば・市民ネットワークは、そんなお母さん達と共に、安心して子育てできるつくばを目指していきます。（請願審査の詳細は議会速報をご覧ください）

話そう！会

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越し下さい。

- 10月24日(月) 10~12時 並木交流センター
- 10月25日(火) 10~12時 竹園交流センター
- 11月 2日(水) 10~12時 ふれあいプラザ
- 11月 8日(火) 14~16時 春日交流センター
- 11月10日(木) 10~12時 松代交流センター

## 一般質問項目

1. 自治基本条例策定  
(進め方と市長の考え)
2. 防災対策  
(震災の検証と計画の見直し)
3. 風車事業  
(進捗・説明責任)

# 自治基本条例づくり その必要性は?効果は?



ながい えつこ  
つくば市議会議員 永井 悦子 の議会報告  
総務常任委員会

つくば市の自治体運営に  
関する基本理念や基本原則  
を定める「自治基本条例」  
作りは、H20の市長選挙で  
現市長がマニフェストに掲  
げたことよって始まりま  
した。

その後市長の施政方針、  
総合計画後期基本計画に明  
記され、H22のキックオフ  
イベントに始まり、多くの  
市民の参加を目指して条例  
作りが進められています。

**知られていない?  
知らされていない**

しかし条例作りが始ま  
って1年半余、市民ワーキ  
ングチームが23回の会議  
を重ね、延べ300人参加  
の市民ワークショップが行  
われてきましたが、「自治  
基本条例」はまだまだ市民  
へ知られていない状況です。  
今回の一般質問では、来  
年11月までの任期中にマニ  
フェストに掲げた自治基本  
条例を制定しようという考  
えがあるのか、そのために  
どのような意気込みがある

のかを市長に聞きました。

市長は「市民は本当に関  
心が無いなど、この自治基  
本条例に。市民の方たちは  
始めから自治基本条例あり  
きではなくて、何のために  
作るんだとか、作った後に  
どういう風になるんだと  
か、そういう基本的な考え  
方がちよつと抜けて足りな  
かったんだと、私は非常に  
実感した。私の任期である  
とか選挙に関わらず、市民  
のみなさんにこの必要性で  
あるとか、効果であるとか  
こういうものをしっかりと説  
明しながら考えながら作っ  
ていきたい。」と答弁。

このように市長は説明不  
足を実感しているならば、  
毎月開催される地区別懇談  
会の機会や広報誌、記者会  
見などメディアを駆使し、  
市民に向かってあらゆる機  
会にあらゆる手段を使って、

**マニフェ  
ストに掲げた  
市長の考え  
や自治基本  
条例の必要**



## 前倒しが急務、震災後の耐震化

震災で被害を受けた小中11校の体育館は、大穂・荃崎中を残して復旧工事を完了し、筑波・豊里体育館なども使用可能となった。しかし震災復旧工事は耐震工事ではないことを周知する必要がある。特に約6割の耐震改修が行われていない教育施設は、二次避難所でもあり、前倒しで実施するよう強く要求していく。



被災した市民ホールやたべ

<使用中止の公共施設>

谷田部総合体育館	耐震診断後方針決定
市民ホールつくばね	ホールのみ耐震補強設計を踏まえて改修予定
市民ホールやたべ	耐震診断後検討
市民ホールとよさと	耐震診断後検討
吉沼地域交流センター	取り壊し後再建検討
荃崎憩いの家	閉鎖 地盤調査を予定

性、効果を充分説明して  
いただきたい。それが提案者  
としての市長の責任ではな  
いでしょうか。

**市民の会でも  
条例作り始まる!**

自治基本条例は、目的や  
必要性が市民に共有されて  
こそ生きた条例となります。  
現在市民ワーキングチーム  
が骨子案づくりを進め、そ

れをたたき台に市民が意見  
交換するワークショップも  
計画されています。

つくば・市民ネットワー  
クでは、誰でも参加できる  
場として「自治基本条例を  
考える市民の会」を立ち上  
げ、つくばに必要な自治の  
ルールについて話し合いを  
進めています。ともに「つ  
くばの未来」について語り  
合ひましょう。



# つくバス・つくタク みんなの声で改善を!

つくば市議会議員 せと ゆみこ  
環境経済常任委員会 瀬戸 裕美子 の議会報告

## 一般質問項目

1. 地域交流センター (意見交換会など)
2. 公共交通 (利用課題など)
3. 放射線対策 (対策室、除染など)

4月からつくバスは通勤や通学に便利なように、各地区からつくば駅へ、あるいは研究学園駅へシャトル運行するようになりました。地区内を回らなくなった分だけ早く到着します。代わりに地区内をつくタク、いわゆる乗り合いタクシーが回るようになりました。これは登録すれば自宅までできてくれます。

**使って、気づいた  
多くの問題**

しかし、5ヶ月余りを経て、利用した人から**問題点**が指摘されています。つくバスでは、バス停が減らされたために家から遠い停留所を利用しなければならなくなり、しかも夜は人通りが少なくなるような場所では怖くて使いにくい、バス停に日差しや雨を避ける屋根やベンチがほしい等。また、つくタクでは予約がしにくい、電動車いす対応の車両がない、朝9時から夕方5時までしか使えない、

## 地域交流センター

### どうなってるの?意見交換会

4月に公民館が「地域交流センター」に衣替えし、7月から8月にかけて**利用団体意見交換会が開かれた。テーマは、①センター利用について ②地域課題 ③利用者協議会の設立の3つ。**しかし開催通知があったのは登録団体のみで、それ以外の利用者や団体には知らされていなかった。

公民館を「地域交流センター」に変えた背景のひとつには、**地域の課題を地域住民が解決していくための一助を担うという役目**があると“地域交流センター基本計画”には表されている。それならば、**意見交換会に区会や自治会、子ども会、老人会などにも声をかけるのがスジではないか。**

今後も意見交換会は、年1度の頻度で行う予定と担当課。しかし、今のままでは苦情処理だけで終わってしまうのではないかと疑問が残る。今回集約された意見は、所長会議を経て庁内で検討することだが、内部で検討し処理するのではなく、利用者も含め解決策を話し合うことこそが地域課題解決に重要ではないか。智慧を寄せ合うなかから、地域交流も生まれ、課題の解決や、協議の芽が育つのではないだろうか。



い、利用券の購入が自宅近くでできないので不便、予約が多いと断られるなど不具合がたくさん見つかりました。

特に問題なのは、本来連携して使うはずのつくタクとつくバスの乗継ぎが非常に困難だったという点です。

**速達性を重視して利用しやすくしたつもりが、かえって不便になっているとも見受けられます。**

これらの問題は、担当課でまとめられ、公共交通活

性化協議会で検討されました。**10月からつくバスのバス停が全体で12箇所増える**ことが決まり、予約が多くなって受けきれなかった**谷田部地区のつくタクは車両が1台、他の地区から回される**ことになりました。



**地域でまとめて！  
より使いやすく**

このように、利用してみても気づいたことを地域の声としてまとめて提案することが、つくバス、つくタクを身近にする近道です。そして行政にはその検討過程が市民に見えるようにしてほしいと思います。

**もっと便利に、もっと身近にするために、まずは使ってみて、気づいたことを発信していきましょう。**

9月13日。数多くの方々の思いが詰まった「子ども達を放射線から守る対策を求める請願」の結果を見届けたく、初めてつくば市の環境経済委員会を傍聴しました。請願内容で議論の焦点となったのは、やはり給食の食材。地元産野菜の安全性に絡み、「汚染された地域」の「汚染」という言葉の表記や数値について意見が分かれました。「お母さん達の心配もわかるがもっと勉強(??)して…」との発言があるかと思えば、同じく生産者の議員から「そうはいっても(原発事故は)、その影響がいつまで続くかわからない重大問題」とのコメントも。

結果は継続審議。議員に腑に落ちる形での補足説明が必要となりました。

今回初めて傍聴し痛感したのは、とにかく「自分達(市民)が動かなくては何も始まらない」。どの議員も共通して口にしていたのは9000筆を超える署名の重みです。あるいは傍聴席から議員へ、レーザービームのような視線を送るだけでも「この問題がないがしろにはできない」というメッセージにはなるはず。自分達の暮らしや安全を守るのか、見届けるためにも一度は傍聴をお勧めします。(トルロ)

## つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 7/ 6、7/15、8/1、8/23、9/6、9/20、10/5  
自治基本条例市民ワーキングチーム会議傍聴
- 7/12、8/24、9/29  
つくば環境フェスティバル実行委員会出席
- 7/15 議員研修会「放射線の健康への影響」(瀬戸、永井)  
22、29 地域交流センター意見交換会参加  
25、26 2011 夏期学校給食学習会参加
- 30、31 市民と議員の条例づくり交流会議参加
- 7/25、7/26、8/1、8/4 議員と話そう会開催
- 8/ 2 遺伝子組換え作物展示栽培見学会出席  
10 つくば市自治基本条例、市民ワーキングチーム・職員ワーキングチーム・議会合同勉強会出席  
18 公共交通活性化協議会出席  
26 生ごみリサイクル交流会 2011 参加
- 8/31~9/16 9月定例会市議会
- 9/11 脱原発広瀬隆講演会&アクションパレード参加  
19 さようなら原発 1000万人アクション参加  
27 「市民と議員の条例づくり交流会議 2011」報告会&意見交換会開催
- 10/4 「『原発』国民投票」学習会開催

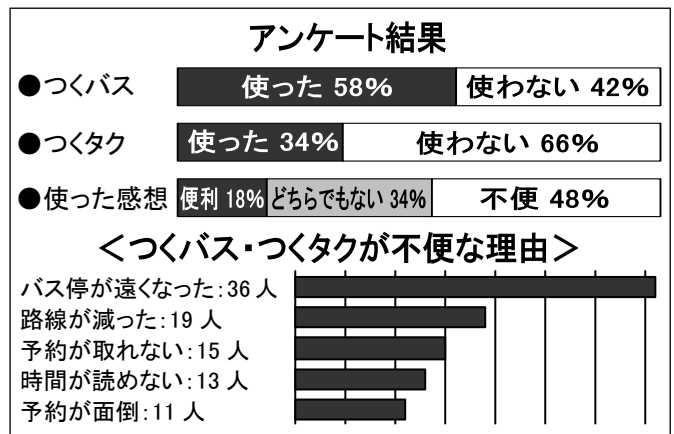


※自治基本条例を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加しています。  
※テーマごとの部会活動の他、放射線関連の各種学習会・シンポジウム・学習会・委員会・審議会等へも多数参加傍聴しています(詳細はHPをご覧ください)

# つくバス・つくタクアンケート報告

つくば市の運行するコミュニティ交通は、今年4月からつくバス(6路線のシャトルバス)とつくタク(予約式の乗り合いタクシー)に変わりました。

そこで、つくば・市民ネットワークでは今回の変更が市民の足にどのように影響しているか調査し、よりよい交通網への改善提案を行なうため、ネット通信27号にて紙上アンケートを実施しました。メールやファックス、郵送で市民120人から回答があり、回答者は60~70代、特に谷田部地区の人が多いという傾向がみられました(詳細は市民ネットHP)。



市民ネットでは、このアンケート結果を元に、団地内バス停の復活、谷田部エリアのつくバス路線新設、つくタクの利便性向上などを公共交通活性化協議会へ提案しました。各自治会や市民からも沢山の要望があり、10月からバス停12箇所(東光台・今鹿島・森の里団地入り口・弁天前・荻崎みなみ郵便局など)が復活・新設されることになりました。

しかし、団地から遠い路線の修正や、バス停への椅子・駐輪場付設、バリアフリー化などまだまだ課題は山積みです。公共交通を生活の足としている市民同士が話し合っ**て決められるよう、検討方法からの見直しを含め、提案して**いきます。



## 市へ政策提案を提出!

市民ネットでは、毎年予算編成時期に合わせて市へ政策提案を行っています。暮らしの中の様々な問題や皆さんから寄せられた情報意見をテーマごとの部会で検討し、9/30に提案しました。(内容は市民ネットのHPをご覧ください)。皆さんの声や参加がよりよいまちづくりにつながります。市民ネットの活動へぜひご参加ください。